



さっちゃん ききいっばつ

さく ひらおか としあき

え ひらの ようこ

みなさんは、「ゆうかい」ということは

知っていますか。

そう、知らない人<sup>ひと</sup>に、どこか遠く<sup>とお</sup>へ連れ

て行かれてしまうことですね。

演出ノート

全編ゆっくりと

先生、保護者の方へ

子どもが誘拐される前には、必ず不審者からの「声かけ」があります。

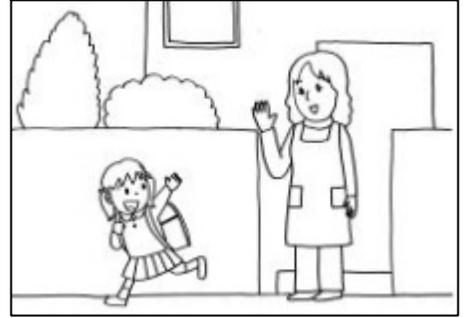
不審者からの声かけは、

- ・ お菓子やおもちゃなどをあげる、買ってあげる
  - ・ 道、時間を尋ねる
  - ・ 身内が事故にあった、病気になった
- などがあります。

不審者からの「声かけ」にだまされないように、お子様の「判断力」を育てましよう。

お子様にとって「誘拐」というテーマは難しいかもしれませんが、なぜ主人公の「さっちゃん」が誘拐されそうになったのかを一緒に話し合ってみて下さい。

さっちゃん ききいっばつ



さっちゃん  
ききいっばつ

これからのお話は、このさっちゃんが

「ゆづかい

されそうになった、

とても面白いお話です。

---

演出ノート

さっちゃん ききいっばつ



さっちゃん ききいっばつ

ある日ひのことです。

学校がっこうからの帰り道かえみち。

さっちゃんがひとりで歩いてあるいると、

知らない おじさんから

おじさん 「ちょっと」

と、声こえをかけられました。

さっちゃんが振り返ふると、

そのおじさんは

おじさん

「あなたのお母かあさんが 大変たいへんなんだ」

と言いいます。

さっちゃんはビックリしてしまいました。

演出ノート

あせった様子で

さっちゃん ききいっぱつ



さっちゃん ききいっぱつ

さっちゃん 「お母さんが、どうしたの。」

さっちゃんが おじさんに聞くと、

おじさん 「あなたのお母さんが

今、4丁目の信号で交通事故にあった

病院へはこばれたんだ。」

と言つのです。

大好きなお母さんが事故に。

さっちゃんはとても悲しくなって、

どうすれば良いのかわからなくなりました。

すると、そのおじさんが

優しく言いました。

おじさん 「よし、おじさんの車でお母さんが

はこばれた病院へつれて行って

あげよう。

早くおじさんの車に乗りなさい。」

演出ノート

さっちゃん

□ 悪いことをたからんでいようなく調で

さっちゃん ききいっばつ



さっちゃん ききいっばつ

演出ノート

さっちゃんが車くるまに乗のろうとしていると、  
前まえから、さっちゃんの知しっている  
おまわりさんが、こちらに向むかって  
歩あるいて来るのが見みえました。

おじさん

「さあ、早はやく乗のりなさい。」

あわてた様子で

おじさんは、急きんにあわてたように  
さっちゃんに言いいました。

おまわりさん

「あれっ、おかしいぞ。」

緊迫した口調で

これは ゆうかい事件じけんかもしれない。  
おまわりさんは 泣なきべそをかいている  
さっちゃんを見みつけ、さっちゃんの  
いる所ところへ走はしり出だしました。

さっちゃん ききいっばつ



さっちゃん ききいっばつ

演出ノート

走<sup>はし</sup>ってくるおまわりさんを見<sup>み</sup>たおじさん  
は、泣<sup>な</sup>いているさっちゃんを残<sup>のこ</sup>したまま、  
あわてて車<sup>くるま</sup>に乗<sup>の</sup>ろうとしました。

おまわりさん 「待<sup>ま</sup>ちなさい。」

厳しい口調で

おまわりさんに呼<sup>よ</sup>び止<sup>と</sup>められても、  
おじさんは聞<sup>き</sup>こえないふりをして車<sup>くるま</sup>に乗<sup>の</sup>り  
込<sup>こ</sup>もうとします。

ついに、おまわりさんは、おじさんの肩<sup>かた</sup>を  
つかみました。

おまわりさん 「なぜ、逃<sup>に</sup>げようとする。」

厳しい口調で

あなたは この子<sup>こ</sup>に何<sup>なに</sup>かしたのか。  
おまわりさんが、逃<sup>に</sup>げようとしたおじさん  
に質<sup>しつもん</sup>すると、おじさんは

おじさん 「この子<sup>こ</sup>に道<sup>みち</sup>を聞<sup>き</sup>いていただけだよ」  
と言<sup>い</sup>いました。

さっちゃん ききいっばつ



さっちゃん ききいっばつ

演出ノート

さっちゃんの  
「」の中のな

おじさんはウソをついている。

私のお母さんが交通事故にあったから

病院につれて行ってけると

言っていたのに…。

さっちゃんは、知らない人に

つれて行かれそうになったことを

すべて おまわりさんに話しました。

さっちゃんから話を聞いたおまわりさん

は、おじさんにいろいろ質問をしましたが、

おじさんは下を向いて、だまっているだけで

す。

おまわりさん

「あなたには警察署で

聞きたいことがある。」

おじさんはおまわりさんにそう言われ、

パトカーでつれて行かれました。

厳しい口調で

さっちゃん ききいっぱつ



さっちゃん ききいっぱつ

演出ノート

優しい口調で

おまわりさん 「さっちゃん、あのおじさんがさっちゃんに言った事故のこと、全部ウソだったよ。警察からおうちに電話をしたらお母さんが出たよ。」

あのおじさんは、さっちゃんを

『ゆうかい』

しようとしたのだよ。お母さんすぐに来るから安心してね。」

おまわりさんに言われ、

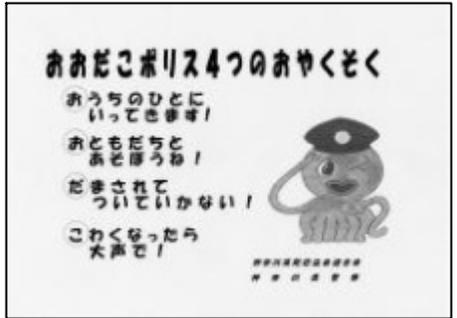
急に体がふるえ出した さっちゃん。

本当に危機一髪だったよね。

おしまい

危機一髪 (ききいっぱつ)  
髪の毛の太さから  
迫ることに危険が

このお話は、神奈川県警察署のひらおかとしあきさんと  
いうおまわりさんと、神奈川県警察本部少年育成課のひらの  
ようこさんがつくりました。



さっちゃん ききいっぽつ

さっちゃん ほんとう 本当にあぶなかったね!

そこで みんなにおねがいです。

次の4つのお約束を守ってくださいね!

おおだこポリス4つのおやくそく

おうちのひとにいつてきます!

\* 出かけるときは、必ずおうちの人に  
行き先を話してから出かけましょう。

おともだちとあそぼうね!

\* ひとりで遊んでいる子を、悪い人が  
ねらっているよ。

だまされてついていけない!

\* 悪い人は、優しい言葉でみんなを  
だまして連れて行くこうとするよ。

こわくなったら大声で!

\* こわくなったり、危ないときには  
大きな声で助けを呼ぼう!